

1. 委員アンケートで出された主なアイデアについて

(1) 防災対策

① 制度周知・コミュニティ形成

- 乳幼児向け(イラストなどが入った)防災ハンドブック等の作成(行政)
- 制度周知のためのポスター・冊子等の作成(行政・区民)
- 「向こう三軒両隣り」の精神を大切に自主防災活動の啓蒙(区民)
- イベント実施による、イベントでの情報の発信(行政)
- 小さなイベント(保存食の講習会等)による人間関係の構築、顔見知りを作る(区民)
- 次世代の活動人材を育てていく場を設ける。(行政)
- 人と人との「きずな」築くために、コミュニケーションの「場」の提供(行政)
- 区民会議委員の関係団体での「ぼうさい出前講座」の実施(区民)
- 子育てサロン等で乳幼児を持つ方のための「ぼうさい出前講座」の実施(区民)
- 地域の公園を活用した世代間交流、公園を区民会議の実践の場とする(区民)

② 制度の見直し・ネットワークの確立

- 町内会・自治会と民生委員の連携(区民)
- 市民委託委員を活用するなど情報ネットワークの構築(行政)
- 町内会・自治会、管理組合、NPO等を緩やかに巻き込んだネットワークの構築(行政)
- 大規模集合住宅での住民ニーズの把握(行政)
- 要援護者の情報共有体制の確立(行政)

③ 大規模災害想定

- 避難訓練(マンション)の実施(行政・区民)
- 人名救助のための安否確認体制の構築(行政)
- 東海、南南海、南海3地震連動に備えるマニュアルの策定(行政)

(2) 防犯対策

- 商店街への防犯カメラ設置促進(区民)

2. 地震発生時の各制度の想定状況について  
～審議の方向性の絞込み～

	震度3 誰もが感じる揺れ	震度5 倒壊の恐れを感じる 大きな揺れ	震度7 恐れを感じる間もない 衝撃
災害時 避難支援 要援護者	「結構、揺れたね」と 安否確認  ・戸棚内の物が落下の 可能性あり ・要援護者の不安感の 払拭	「大丈夫ですか」と 安否確認 ・壁が割れ、煙突が倒れ る可能性あり ・家内状況の把握 ・援護の必要性の確認 ・支援者は要援護者へ の連絡・確認	(まずは支援者の身を守 ることが前提) (両隣などの近所の救援 が優先) ・30%以上の家屋が倒 壊 ・安否確認 (近所への声掛けによる 協力者要請)
見逃さ ない運 動	連携	連携	(まずは支援者の身を守 ることが前提) (両隣などの近所の救援 が優先)
安全、安否確認をするうえで、マップや名簿の情報が役立つ (日頃の付き合いが物を言う)			
避難所 運営会 議	動きなし	避難所設置の検討  ・倒壊はしていないが、 家内での生活が出来な い状態がある等 ・情報収集	避難所設置  ・運営マニュアルに沿っ た行動 ・名簿等の作成 (仕切る人、動く人の統 制) (定員あるのか?)

※風水害も制度の対象